

2023年5月31日

各 位

会 社 名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド
代 表 者 代表取締役社長 米田 幸正
(コード番号: 7829 東証グロース)
問 合 せ 先 管理統括本部長 杵本 直司
(TEL 03-6400-5524)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況及び計画期間の変更について

当社は2021年12月24日付け公表「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」のとおり、グロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画書（以下、「本適合計画」とします。）を同日付で開示しておりました。

この度、2023年2月28日（期末基準日）時点における本適合計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社は、株式会社東京証券取引所の市場区分の見直し（当時）に伴い、2021年12月24日付にてグロース市場を選択する申請書を提出いたしました。また、下表のとおり、「流通株式比率」については、移行基準日時点（2021年6月30日）で当該市場の上場維持基準を充たしていなかったことから、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書（計画期間：2024年2月末）を作成し、公表いたしました。

流通株式比率の適合基準を充足するためには、当社グループの業績改善による企業価値の向上と、これによる当社株式価値向上が最優先との考え方にに基づき、事業計画の達成に向けて推進してまいりました。また、2022年5月に経営陣を刷新し、新たな経営体制のもと、事業の立て直しを図ってまいりました。しかしながら、事業の立て直しは未だ道半ばの状況であり、2023年2月期連結業績において、当初の業績予想を大きく下まわる結果となりました。

現在、新社長のもとで、今後の経営戦略である「Reborn計画」を推進しておりますが、業績を改善させるにはなお一定の時間を要するものと判断いたしました。そのような状況下、この度計画期間を2024年2月末から2026年2月末に変更し、当社グループの事業計画達成による企業価値向上と、これによる当社株式価値向上の実現に向け、具体的施策を推進してまいります。

なお、今後の経営戦略である「Reborn計画」における業績改善のための具体的施策につきましては、本日付で開示しております「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照いただきますよう、お願い申し上げます。

		流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の 適合状況 及び その推移	移行基準日 (2021年6月末時点)	150,266 単位	21 億円	22.8%	93 億円
	2023年2月末時点	152,075 単位	15 億円	23.0%	65 億円
上場維持基準		1,000 単位以上	5 億円以上	25.0%以上	40 億円以上
当初の計画期間				2024年2月末	
更新後の計画期間				2026年2月末	

- (注) 1. 当社の適合状況は東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。
2. 比率は小数点第2位を切り捨ての上、記載しております。
3. 時価総額は上場会社の事業年度の末日以前3か月間における当取引所の売買立会における当該株券等の日々の最終価格の平均に、当該事業年度の末日における上場株券等の数を乗じて算出しております。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針

当社株式の持分比率は、2023年2月末日時点、親会社であり筆頭株主である株式会社コナカが59.0%、創業者である寺田和正氏が16.7%であるなど、大株主上位2名が75.7%を占めるなどの状況から流通株式比率が25.0%を下まわる状況であります。

当社におきましては、本適合計画の公表以降、前述のとおり、事業の立て直しを図ってまいりましたが、未だ道半ばの状況であります。この度計画期間を2024年2月末から2026年2月末に変更し、今後の経営戦略である「Reborn計画」を推進するとともに、流通株式比率25.0%以上に適合するため、様々な対応策の検討を継続してまいります。